



2026年5月14日

各位

会社名 石井食品株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 石井 智康  
(コード番号 2894 東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員コーポレート部経理グループ  
マネージャー 村上 樹生  
(TEL 047-774-8748)

### 通期連結業績予想値と実績値の差異のお知らせ

2025年11月13日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 2026年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	11,200	250	280	209	12.55
実績(B)	10,970	15	22	△74	△4.47
増減額(B-A)	△230	△235	△258	△283	—
増減率(%)	△2.1	△94.0	△92.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	10,869	267	309	287	17.27

#### 2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、価格改定後も売上高が堅調に推移したことに加え、各工場における生産計画の最適化や生産性向上の取組みにより残業削減及びエネルギー使用効率が改善し、増収増益となりました。このような経営状況を踏まえて、2025年5月15日公表の2026年3月期の通期業績予想を2025年11月13日に上方修正いたしました。

当第3四半期及び第4四半期においては、一部の原材料で高騰する品目がありながらも生産性向上施策等の実施により概ね見込みどおり進捗しておりました。しかしながら、保有する工場の解体計画が具体化したこと等を受けて資産除去債務における見積りを変更し減価償却費を追加計上したほか、安全性確保や労働環境整備に向けた工場内改善において想定を超えて修繕が発生したこと及び来期以降の売り場を確保するために実行した販売促進企画における販売インセンティブの増加がありました。この結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想よりも下回る結果となりました。

以上